

各関係機関・団体の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成20年度発生予察技術情報第15号（果樹カメムシ類）について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので送付します。

平成20年度技術情報第15号

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）の誘殺数が8月中旬から増加しており、薩摩川内市東郷町では9月に入ってからも多い状況が続いている。一部の地域では果樹園への飛来と被害が確認されているため、今後も注意が必要である。

1 対象作物 カンキツ、ナシ、カキ

2 情報の根拠

- （1）薩摩川内市東郷町では、予察灯での誘殺数が9月に入ってからも多い状況が続いており、9月第4半旬に2,706頭（チャバネアオカメムシ：2,389頭、ツヤアオカメムシ：317頭）が誘殺された（表1、図1）。特に、9月20、21日は誘殺数が多く、それぞれ1,791頭、1,396頭（2種計）が誘殺された。
- （2）北薩地域を中心に、カンキツ、ナシ園で飛来が認められ、一部のほ場では落果等の被害が確認されている。
- （3）9月中旬のヒノキ樹寄生虫数は、20.8頭/地点（うち、成虫18.8頭）で9月上旬の21.8頭/地点（うち、成虫16.0頭）とほぼ同量で多い状況が続いている（表2）。
- （4）9月中旬のヒノキ球果口針鞘数（吸汁痕数）は、24.8本/果（前年19.4）で9月上旬の21.6本/果（前年12.0）に比べてかなり増加しており、離脱の目安である25本/果を越えた地点が多くなっている（表3）。
- （5）ヒノキ樹での新成虫の発生量も多く、成虫の離脱もすでに始まっていることから、今後も引き続き果樹園へ飛来する可能性が高い。

3 防除上注意すべき事項

- （1）カメムシ類の飛来は地域間差、ほ場間差があるので、園内外をよく見回り、飛来を認めたら直ちに防除する。収穫期を迎えている極早生温州やナシ園では特に注意する。
- （2）飛来を認めた場合、一回目の防除は残効の長いネオニコチノイド系薬剤または合成ピレスロイド系薬剤を選択する。合成ピレスロイド系薬剤は、ハダニ類の発生を助長するので散布後の発生に注意する。また、散布後の園内の飛来状況を見極め、二回目以降の防除を実施する。
- （3）薬剤のかかりの悪い場所へ集中的に飛来する可能性が高いため、薬液が樹全体にかかるように丁寧に散布する。
- （4）防除に当たっては、薬剤の使用回数・時期を厳守し、収穫開始予定日を想定して農薬を選定する。なお、近くに収穫前の樹がある場合は、飛散の恐れがあるので適切な農薬を選択する。

<参考資料>

表1 予察灯におけるカメムシ類の誘殺状況（8～9月）

ツヤアオカメムシ											
	半旬	垂水市		南さつま市 ¹⁾		いちき串木野市 ²⁾		薩摩川内市 ³⁾		出水市	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
8月	1	69	24	50	43	64	55	109	33	67	24
	2	29	13	10	62	12	189	129	42	96	38
	3	8	12	8	66	0	123	208	42	154	119
	4	1	16	5	38	5	102	112	30	9	114
	5	14	22	14	32	6	53	120	25	43	30
	6	26	67	21	38	26	64	418	63	154	65
9月	1	282	90	9	50	4	91	506	62	651	74
	2	76	207	3	59	18	117	663	83	369	85
	3	36	567	0	66	16	77	208	79	228	260
	4	93	424	5	46	7	48	317	42	111	163

チャバネアオカメムシ											
	半旬	垂水市		南さつま市 ¹⁾		いちき串木野市 ²⁾		薩摩川内市 ³⁾		出水市	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
8月	1	38	94	17	30	21	75	168	70	12	19
	2	15	26	14	34	4	94	149	76	19	24
	3	56	21	17	38	0	233	448	97	98	84
	4	38	30	20	60	1	298	689	160	65	139
	5	75	50	34	50	12	171	1304	126	161	78
	6	68	79	49	45	21	234	1740	117	253	124
9月	1	24	39	27	41	13	149	958	113	304	154
	2	63	55	3	26	12	556	1376	165	131	164
	3	13	69	3	71	8	394	286	124	57	246
	4	118	57	1	29	5	143	2389	79	285	116

注：1）南さつま市加世田唐仁原， 2）いちき串木野市湊町， 3）薩摩川内市東郷町

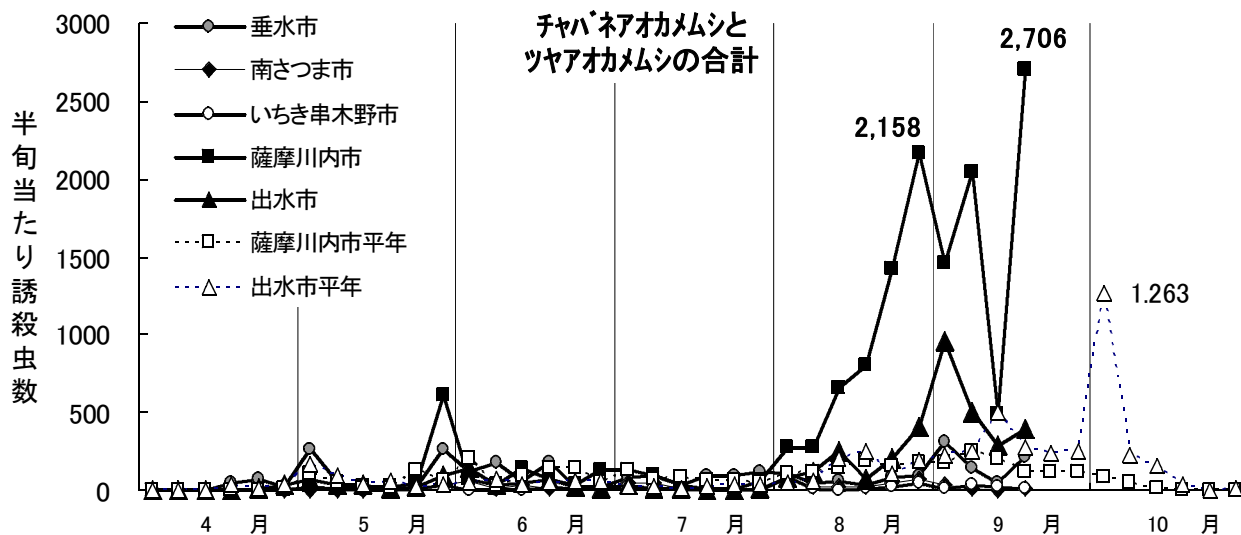


図1 予察灯におけるカメムシ類（2種計）の誘殺状況（平成20年）

表2 ヒノキ樹でのカメムシ類寄生状況（7～9月調査）¹⁾

調査場所	調査時期					
	7月上旬	7月下旬	8月上旬	8月下旬	9月上旬	9月中旬
いちき串木野市1	23(19)	40(20)	34(20)	30(6)	25(6)	24(23)
いちき串木野市2	17(8)	37(19)	41(24)	42(18)	32(19)	23(20)
薩摩川内市東郷町	1(1)	7(7)	11(11)	26(3)	30(2)	16(16)
さつま町	0(0)	8(3)	23(14)	32(14)	23(15)	24(11)
阿久根市	2(2)	32(20)	43(30)	48(16)	42(7)	38(36)
出水市高尾野町	2(2)	30(20)	21(16)	47(11)	37(8)	33(31)
出水市1	3(3)	15(4)	25(19)	27(9)	13(2)	26(24)
出水市2	5(2)	18(8)	45(36)	21(2)	28(3)	48(48)
垂水市1	7(6)	18(2)	14(9)	4(3)	3(2)	4(4)
垂水市2	4(4)	19(1)	8(3)	3(1)	7(6)	0(0)
南さつま市加世田	4(4)	22(15)	15(7)	7(0)	0(0)	3(2)
日置市吹上町	5(4)	29(12)	42(32)	34(3)	22(0)	11(11)
平均	5.4(4.1)	22.9(10.9)	26.3(17.9)	26.8(19.5)	21.8(16.0)	20.8(18.8)

- 注) 1. 調査日：平成20年7月2～3日（上旬），7月25～27日（下旬），8月7日～8日（上旬），
8月19～21日（下旬），9月3～4日（上旬），9月16～18日（中旬）
2. 数字は1地点当たりの平均値で，（ ）内は成虫数で内数
3. 1地点5ヶ所における捕虫網20回振るい落とし虫数

表3 ヒノキ球果での口針鞘数推移（7～9月調査）¹⁾

調査場所	調査時期					
	7月上旬	7月下旬	8月上旬	8月下旬	9月上旬	9月中旬
いちき串木野市1	0.1	6.9	9.2	15.9	24.1	23.7
いちき串木野市2	0.1	9.1	11.5	18.1	26.0	28.0
薩摩川内市東郷町	0.0	2.1	3.1	15.2	19.6	23.5
さつま町	0.0	0.6	2.5	17.1	21.3	29.0
阿久根市	0.0	0.9	2.2	9.7	23.3	23.1
出水市高尾野町	0.1	3.3	3.6	11.4	18.8	22.5
出水市1	0.2	4.8	8.1	15.9	19.2	27.5
出水市2	0.0	1.4	5.2	15.5	19.5	31.7
垂水市1	0.1	9.6	15.0	15.5	24.8	23.7
垂水市2	0.4	7.5	14.8	18.9	22.6	24.5
南さつま市加世田	0.1	4.7	6.8	16.7	21.1	17.2
日置市吹上町	0.1	3.6	6.5	10.5	19.3	23.7
平均	0.1	4.5	7.3	15.0	21.6	24.8

- 注) 1. 球果採集日：平成20年7月2～3日（上旬），7月25～27日（下旬），8月7～8日（上旬），
8月19～21日（下旬），9月3～4日（上旬），9月16～18日（中旬）
2. 口針鞘数（吸汁痕数）：25本/果がヒノキ樹からの離脱の目安